

当会の貯金は、JAバンク独自の制度である「破綻未然防止システム」と公的制度である「貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）」との2重のセーフティネットで守られています。

(1) JAバンクシステム

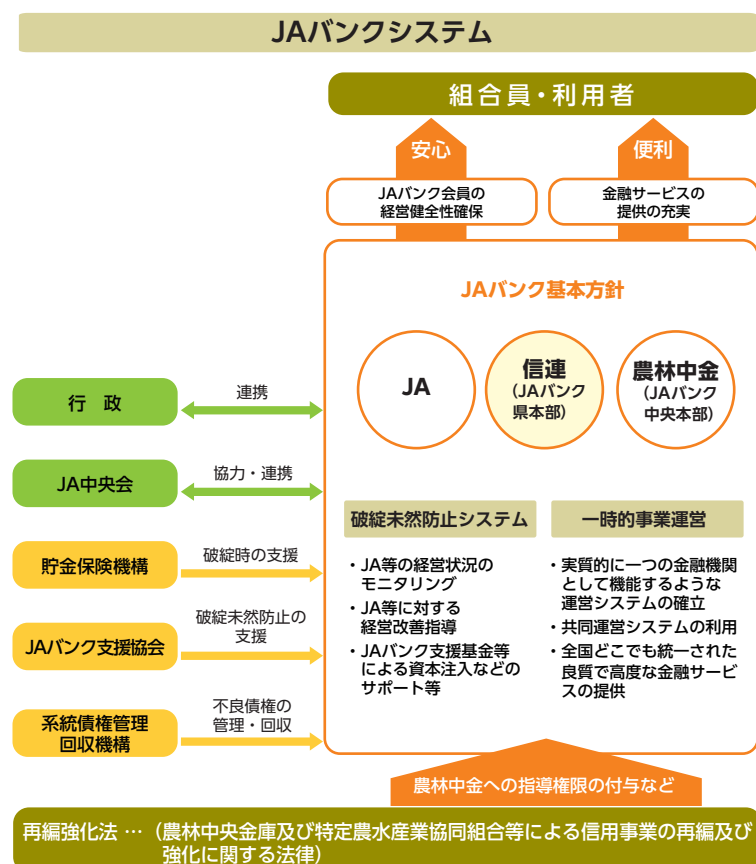
組合員・利用者から一層信頼され利用される信用事業を確立するために、「再編強化法（農林中央金庫及び特定農水産業協同組合等による信用事業の再編及び強化に関する法律）」に則り、JAバンク会員（JA・信連・農林中金）総意のもと「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に取り組むしくみを「JAバンクシステム」といいます。

「JAバンクシステム」は、JAバンクの信頼性を確保する「破綻未然防止システム」と、スケールメリットときめ細かい顧客接点を生かした金融サービス提供の充実・強化を目指す「一体的事業運営」の2つの柱で成り立っています。

これらにより、万全の体制で組合員・利用者の皆さまに、より一層の「安心」と「便利」をお届けします。

安心便利な理由

(2重のセーフティネット)



◇破綻未然防止システム

信用事業をはじめとしてJAを取り巻く環境は厳しさを増す中、JAが総合事業体として機能を発揮し続けられるようにするため、早期の経営改善を促すモニタリング制度として監督当局による「早期警戒制度」があります。

JAバンクでは、JAの健全性を確保し、経営破綻を未然に防止するためのJAバンク独自の制度として、「破綻未然防止システム」を構築しております。具体的には、(1) 個々のJA等の経営状況についてチェック（モニタリング）を行い、問題点を早期に発見、(2) 経営破綻に至らないよう、早め早めに経営改善等を実施、(3) 全国のJAバンクが拠出した「JAバンク支援基金」等を活用し、個々のJAの経営健全性維持のために必要な資本注入などの支援を行います。

◇一体的事業運営

良質で高度な金融サービスを提供するため、JAバンクとしての商品開発力・提案力の強化、共同運営システム〔JASTEMシステム〕の利用、全国統一のJAバンクブランドの確立等の一体的な事業運営に取り組んでおり、組合員はじめ地域・利用者の皆さまから選ばれる金融機関であり続けるよう努めています。

(2) JAバンク・セーフティネット

JAバンクでは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティネット」を構築しています。これにより、組合員・利用者の皆さまへ、より一層の安心を提供します。



◇貯金保険制度（農水産業協同組合貯金保険制度）

貯金保険制度とは、農水産業協同組合が貯金等の払出しができなくなった場合などに、貯金者等を保護し、また、資金決済の確保を図ることによって、信用秩序の維持に資することを目的とする制度です。

この制度は、銀行・信金・信組・労金等が加入する「預金保険制度」と同様の内容になっています。